

## <他機関との連携活動> (インターナショナルオフィス 野田久尚)

### JICA日系研修「柔道と日本文化理解」研修員受け入れ

日本政府は、中南米地域の日系人社会に対して日本文化の継承を促進するための支援を行っていますが、その一環として、本学は平成29年11月13日から12月12日の1か月間、メキシコとブラジルから柔道の指導者を目指す若者2名を研修員として受け入れました。研修員は、香川県柔道連盟の協力の下、毎日柔道の練習を行ったほか、日本語及び日本事情の講義も受講しました。



## JICA課題別研修

### 「アフリカ地域 村落飲料水管理」コース研修員の受け入れ

本学は昨年度より、アフリカ地域の給水施設維持管理技術の向上を図るための標記研修コースの実施に協力しています。今年度も、平成29年11月17日から12月15日まで、アフリカ地域の11ヵ国から15名の研修員が来日し、医学部及び工学部の教員から安全な飲料水の供給に必要な知識や基本技術の研修を受けました。また、研修員は、忙しい研修の合間を縫って、「国際協力論」の授業で学生に対して出身国の概要について発表を行ったり、日本文化体験として書道や剣道の体験をしました。



書道体験

## カンボジア国「カンダランスタン郡の衛生教育改善のための学校保健体制の構築プロジェクト」本邦研修実施

本学が香川県と共同実施している標記プロジェクトは平成29年7月に本格的に開始されましたが、10月には現地の教育省関係者及び学校関係者を2班に分けて招へいし、本学医学部や附属中学校等において、口腔ケアや手洗い指導、学校保健室の機能等について研修を行いました。第1班にはカンボジア教育省のキム・セタニー長官も参加され、カンボジア側の期待の高さを感じられました。また、カンボジアでは今回の日本での研修成果を現地に広く普及させるため、平成30年1月に現地において事後研修セミナーを開催し、多数の教育関係者が参加しました。



医学部での歯磨きの保健学習（磨き残しの染め出しの体験）



医学部スキルラボにて呼吸音の聴診



小学校でのクラス給食体験



附属中学校での感染予防保健学習で体験学習



高松市環境保全推進課によるゴミの分別学習（ゴミ収集車へのゴミ出し体験）



教育学部祭りでバルーンアートの体験



大学生協で学食を体験